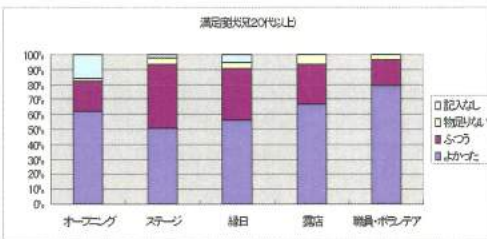
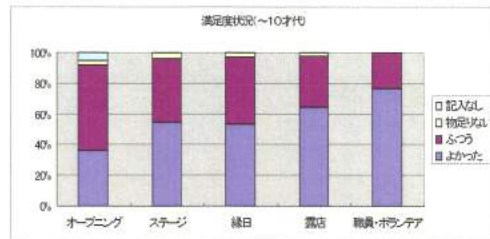


* サマーフェスタ2009アンケート結果 *



■ ご意見 (~10才代)

- たのしい
- 雨がじゃま
- すごく楽しい。来年も！！
- はんがくが良かった
- ステージで歌うとき、きんちょうした
- 楽しかった
- いらっしゃいませが楽しかった
- おばけやしきがおもしろい！！でももう少しやさしめに・・・
- 楽しい！！めいろをもっとこわくして下さい。
- 毎年来てて、いつもよりいいと思った。

- 雨へのたいさく
- あめがふっていて困った
- 雨で大変だったと思うけど、スタッフさんの対応がよかったと思いました
- 困ることなく、対応してくれたのでよかった。でも、雨なのがちょっといやです。
- ポテトがおいしかったです。またきたいです。
- 特にスーパーボールがすくいが楽しかった。あと、ヨーヨーつりも。
- 雨がふっているのががんばってやっていたので、良かったです。

- もっと緑日の数を増やしてほしい。
- 冷房が冷たいです。
- おばけやしき、けっこうイイヨ！！
- にぎやか。
- 楽しかった。来年もしてほしいです。
- 楽しくて食べ物がおいしい！！
- かき氷がおいしかった。
- もっとえんにちをふやして下さい。
- 露店の対応よかったですよ！！
- 子供も楽しめるようにしてあってよかったと思います。
- 楽しい！！らいねも来たい！！
- メンチカツがおいしかった。たいへんよかった。
- ものすごくうれいす。
- チケット売り場が一ヶ所しかなかったので、何か買いたいと思ったときにまた売り場までもどらなきゃいけないのがめんどうだったので来年は売り場を増やしてほしい。
- 楽しかった (にこマーク)。

島根大学福祉ボランティアの皆様から暖かい励ましをいただきました。お礼の気持ちを込めて挨拶を紹介させていただきます。また、3日間ありがとうございました。(1回目：運動会補助 2回目：フェスタ準備 3回目：フェスタ)

- 収穫は施設職員さんの働く姿を見れたこと、それによって利用者さんとの接し方を学べたこと・・・一番大切なのは「協力」・・・協力することによっていろいろなことが可能になる・・・自分も人を支えられるような社会の一員になろうと思うことができた。
- ・・・「ボランティア」観に少なからずとも変化が起きたことがとても大きい。
- サマーフェスタでは、一日中一緒にいてトイレや食事介助をするというもので・・・言葉が理解できずあたらふたと・・・食事介助も食べてもらえず・・・職員さんに「ことばで理解しようとして、しゃべりさや目の動きで・・・反応を見れば・・・」食べてもらえたことがとても嬉しかったです。
- 人間として大きくなれた。大変だったが充実感のある3日間だった。
- 障害がある方だけでなく、その保護者、職員、小さな子供からお年寄りまで本当にいろいろな人と話をしたり、一緒に笑い合うことができた。
- 私たちがボランティアを行うことによって、この笑顔を少しでも引き出せているのかなと思った。ボランティアは何か見返りがあるわけではないが、そんなものはいらなくらい充実した3日間を送ることができた。

- こんな天気でもみんな明るかった。ステージで踊っている利用者さんたちも楽しそうに踊っていて、それを見てやる気が戻ってきた。
- 地域の方が大勢来てとてもにぎやかだった。利用者の方も屋台をめぐる楽しんでいる様子だった。私は、自分たちの努力があるからこそみんなが楽しめていると感じ、精一杯準備をして良かったなあと心から思った。
- 障害は一人ひとり違い・・・その人にあった接し方をすることが大切だと思う。
- 職員さんを始め、身近に関わっている人達は「普通に接している」・・・私はどこか先入観を持ち、難しく考えていた気が・・・見ているとまるで親子のような友達のような家族のような関係でとても微笑ましく思えた。
- ・・・たくさんのことが学べ・・・海の日の前日に毎年お祭りがある・・・機会があればまた・・・
- 老人ホームや障害者施設は・・・閉鎖された空間になりがちではないだろうか・・・祭りなどを福祉施設で開けば、一般の人たちの理解も深まり、協力も得られ安くなるのではないだろうか
- ・・・日々何か追われているような焦燥感に駆られ、ちょっとしたことに感動する余裕を失って・・・これからも多くの学生が私と同じように・・・素晴らしい体験ができることを願っています。
- さまざまなバイトをしてきて、そこで多くの人の働く姿を見てきましたが、・・・決して楽な仕事ではないのに・・・活気に溢れた雰囲気職場・・・障害がある人に活気を分けてもらっているからではないだろうか・・・全力で取り組む姿勢に圧倒されました。

落とし物・お忘れ物のお知らせ

※お預かりいたしておりますのでご連絡ください。0852-24-8820

- ①自転車の鍵 ②財布 (DYDOのポイントカード入り) ③赤いボールペン ④スヌーピーのタオル
- ⑤タオル生地の帽子 ⑥松江養護学校販売品 (名刺入れ) ⑦ガーゼタオル (青い花模様)
- ⑧松江養護学校販売品 (お湯のみ・小鉢・小銭入れ) ⑨手ぬぐい (豆紋り)



編集後記

長い梅雨が終わり、夏がなくて秋に突入しました。今年の祭りは大雨に見舞われ残念でしたが、その分、みんな頑張って記憶に残る祭りになりました。ただ、今年の大雨の被害は甚大で「ゲリラ」的などと報道されました。日本にとって「梅雨の長雨・冷夏・暖冬」がセットのエルニーニョ現象は、海水温度の上昇と低下が原因といわれ、これまでの記録ではほぼ4年の周期で発生していたそうです。それが、最近では地球温暖化なども要素に入り予測は難しくなっています。ともあれ、祭りに雨は大敵です。来年は良いお天気に恵まれることを願うと同時に、雨を見方にするようないい策を持ちたいものです。皆様のご健勝をお祈りいたします。

夏祭り特集

千鳥福祉会便り
千690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人千鳥福祉会
代表(TEL 24-8820 FAX 24-8825)
障害者支援施設 持田寮
就労移行支援事業所 ワークセンターフレンド
多機能型事業所 L.C.C.ういんく
共同生活援助・介護事業所
千鳥福祉会ケアセンター大空

No.111 2009.8.31



ホーランエンヤの魅力

千鳥福祉会事務長 原 繁 雄

今年の夏祭りのオープニングは「ホーランエンヤ」。「ホーランエンヤ」の歴史や伝統、神事、無形文化財ということを見ると、本当にやれるものなのか正直不安が過ぎりました。それでも、ホーランエンヤを夏祭りのオープニングでやれたらいいなという思いが消えることはありませんでした。その思いが届いたのか、願いを叶えて下さる「救世主」が私たちの前に現れたのです。今年五月のホーランエンヤに采振りの指導役として関わって来られた松江市大井町の野津恵治氏その人です。野津氏はご自身約24年前(当時18歳)に、大井町の権伝馬船に乗り采振りとして見事な踊りを披露された方です。五大地の中でも大井町の踊りは高度に洗練されていると言われるほど高い評価を受け、多くの人を魅了します。野津氏は私たちの思いを地元の総代長に話され、ここに私たちが大井町の有志より指導を受けるチャンスを与えていただくことができたのです。私たちは、大井町の方々のご指導ご協力を得ながら、福祉サービスを利用していらっしゃる障がいのある方たちと我々職員が協力して、その伝統や文化、ホーランエンヤの魅力に少しでも近づければと思いました。

6月初旬、千鳥福祉会での練習がいよいよ始まりました。誰がどの役を行おうとも唄が一通り唄えることが最低条件です。まず唄を覚えることからスタートしました。単に唄といっても、五大地にあってはそれぞれに唄は微妙に違います。音頭取としてご指導いただいた野津進氏の唄には、観客に惚れ惚れとするこの唄の素晴らしいさを聴かせたい、権かきに気持ち良く一糸乱れぬ権捌きを等と、様々な思いが込められているように感じました。海の上ほどではなくとも当日は屋外に設置されたステージの上です。声を遠くまで通らせようとすると、腹の底から声を出さなければなりません。我々も大きな口を開け、体育館に響き渡らせようと必死でした。

次のステップは権かきです。しかも唄に合わせ、千鳥福祉会から選抜された八人で一糸乱れぬように権をかく。ところがこれが思った以上に難しい。権の持ち方から教えてもらいかき始めた頃は、権と権が当たりそうになりなかなか上手いきません。私たちの練習は週に1回のペースで始まりましたが、本番に間に合わせるために、途中から週に3回のペースに切り替えました。神幸祭の権かきさんたちは、伝馬長からの厳しい指導のもとで何ヶ月も合わせるための練習

を毎日のように行っていると聞きました。厳しさの中に伝統が守られ、伝承されていくのだと思いました。

ホーランエンヤのスターは剣權と采振り。剣權の指導を野津達巳氏にお願いしましたが、あっさり断念しました。その力強さ、躍動感を剣權を使って身体全体で表現することは余りにも難しいと判断したからです。きっと身体がバラバラになってしまいうそです。采振りは少し指導を受けたが、両手の親指と人差し指で柄を挟み柄を回しながら踊り、しかも身体の柔らかさでその艶やかさを演出しなければならぬ。これも断念。こうなれば私たちの出来ることを精一杯練習するしかない。練習の合間に「権伝馬船に乗る人全員が心をひとつにし、全員が揃って初めて権伝馬船が形成される」と言われた。つまり水先案内も伝馬長も権かきも皆スターなのである。練習の日が続いたある日、観衆の前で自分達の練習の成果を観てもらうことで精神面の強化を図る事もあり、更に歩き踊りの練習も入った。

こうして、約1ヶ月半が経ちよいよ本番当日。歌舞伎役者を思わせる剣權役、采振り役、そして太鼓役は美容院で入念にメイクをしそれぞれの衣装で会場に到着。また、伝馬長、音頭取、権かき等はそれぞれに初めて浴衣や法被に袖を通し、手ぬぐいを締め、気分は最高潮に達した。ところが、外はかなりの雨。いよいよ午後4時。伝馬長の笛の合図でホーランエンヤは始まった。権を用意し船と垂直になった権の先をみたととき観衆の姿が目に入った。雨は降っているものの一見見ようと黒集りの人である。どんなに雨が強くなろうと立ち去る人はいない。こうなれば私たちも練習してきたことを精一杯出し切って、オープニングに相応しいステージにしなければと気合が入った。また、この雨に負けないよう威勢の良い大錦巻にしなければ皆の気持ちが一つになっていく。雨は時折強くなるが気持ちで負けないよう必死になった。ステージでのホーランエンヤが終わると次はステージの下に降り歩き踊りである。観客をわけて列を成してお隣りに合わせ一行は進んでいく。こうして30分のオープニングは終わった。

ズブ濡れになりながらも何とも言えぬこの心地よい気分は、やり遂げた後の達成感なのだろうか。達成感だけではない。これがホーランエンヤの魅力であり、人を魅了させる力かもしれない。

人との出会いから始まり、皆で作り上げるこの素晴らしい景色と一緒に喜び合えたことに、また、大変充実した時を過ごせたことに心から感謝します。また、ご協力ご支援いただきました大井町野津総代長様はじめ、大井町有志の皆様へ心から感謝致します。そして、今後とも未永いお付き合いが出来ますことを願っています。私たちは今やホーランエンヤの門を叩いたところです。

第8回千鳥福祉社会サマーフェスタ2009

主催/千鳥福祉会
共催/後援会・保護者会・平成ニュータウン子供会
後援/持田地区自治会連合会・持田地区社会福祉協議会

祭りの目的はたくさんあります。福祉事業の一環として行う祭りですから地域との交流は当然ですが、この祭りで「福祉固有の文化」を表現できるようになり、お客様に見ていただきたいと願ってきました。そして、回を重ねることによって新たな気づきももらうようになりました。

～福祉の文化とは～

- ①「ホスピタリティ」～去年の祭りで見つけた「会場いっぱいの心遣い」
- ②「コミュニケーション」～今年の祭りで見つけた「想いが伝わる心地よさ」



年に一回、多くの方々と企画するこの夏祭り、その懸命さがお客様に伝わったのだとしたらこれほど嬉しいことはありません。今後も、人の暮らしで大切なものを探しつつそれが表現できる祭りを続けたいと思います。また、後援会様、保護者会様等各方面より協賛金を頂戴いたしました。また、178名のボランティアの皆様のご支援によって、雨にも負けない祭りを開催させていただきました。心よりお礼を申し上げます。地域の皆様にはぜひ来年もお出かけいただきますようお願いいたします。



夏祭り実行委員会一同



一言で言えば『安心』です。



大井町 野津 恵治

雨となりましたが、私達大井のメンバーと千鳥福祉会メンバーの皆さんの気持ちには何も心配する必要はありませんでした。皆さんが自信に満ちた顔をしていたようにも思えました。そして最後に私達全員の気持ちを一つにさせてくれたのは、あの雨の降りしきる中で、予想以上のお客様が来ていらっしたということではないでしょうか。

今回、サマーフェスタ2009に参加した大井の権かき4名は、今年のホーランエンヤに参加したメンバーですが、私を含め野津達巳氏、野津進氏は24年前の昭和60年のホーランエンヤで役者、音頭取をしたメンバーです。本来ならば24年前に踊り、もう2度と踊ることも無いと思っていましたが、千鳥福祉会の皆様、今回のサマーフェスタ2009に参加協力の許可をいただいた大井ホーランエンヤ総代長、そして雨の中来ていただいた多くのお客様のおかげで大きな感動をいただきました。また私にとっては自分の息子のたたく太鼓の音で踊ったことは一生の思い出になりました。最後に今回一緒に練習をし、千鳥福祉会の職員の方、利用者の方と一体になり目標を成し遂げた事は私の宝物と言っても良いと思います。

昨年の冬にサマーフェスタでホーランエンヤをすることになり、実際に練習を始めたのは祭りの日の約1ヶ月前、それまで私達は今年の5月に行われた『松江城山稻荷神社式年神幸祭ホーランエンヤ』の練習の真直中で、千鳥福祉会さんとの練習が出来なかったからです。皆さん全員、経験がない訳ですから、間に合うかどうか本当に不安でした。

数日間練習を行いました。やはり心配していたことが現実となりました。ホーランエンヤをすることになったとは言っても余程興味がなければモチベーションを上げるどころか、維持して行くことさえ難しい、ましてや皆さん仕事が終わってからの練習ですから当たり前です。役者の剣権、采振り、音頭取、太鼓は大井の自分達でするにしても、伝馬長、権かきは千鳥福祉会の方々がやらなければなりません。唄だけを唄うだけならまだ楽ですが、権を合わせしかも同時に唄も唄わなければなりません。大井権伝馬でさかかなりの練習時間を費やして合うようになる訳ですから、やれと言う方が酷と言うものです。とは言え協力を引き受けた以上なんとかしなければという思いが伝わったのでしょうか、驚く程のスピードで上達し、目付きも変わりました。練習をしている時は真剣に、休憩の時間は会話ありの笑いありで、皆さんが一つになったと感じました。

そしてサマーフェスタ2009本番当日、心配をしていた天候は残念なが



ホーランエンヤ出演の感想をひとこと

足立真一さん…1ヶ月の練習だったが、自分なりに最高の出来だったと思う。来年もあつたらやりたいが、ほかの方にも出てもらった方が良いと思う。

紙谷慎治さん…練習でもちゃんと覚えたので、本番はちゃんと歌えた。雨がふらなかつたらもっとたくさんの人に見てもらえと思うので残念。来年もやりたい。

森崎幹朗さん…掛け声も太鼓も良かった。退場も上手にできた。来年は太鼓をやりたい。

森脇将太さん…歌を歌う係りだったが、雨で周りの人の声も聞こえなかった。それでも練習をしていたので間違えず歌えた。練習期間が短かった。来年は違う人にもやってほしい。